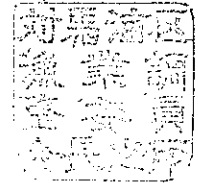


# 公 示

令和7年11月25日に公示していた漁業法第86条第4項で準用する同法第89条第4項の規定に基づく公開による意見の聴取を延期し、次のとおり行う。

令和7年12月2日

対馬海区漁業調整委員会  
会 長 植木 忠勝



## 記

- 1 予定されている不利益処分内容及び根拠となる法令の条項
  - (1) 予定される処分の内容  
令和5年9月1日付けで知事が免許した区画漁業権対区第1309号及び対区第1310号第1種くろまぐろ小割式養殖業に付した条件を変更するもの。
  - (2) 根拠となる法令の条項  
漁業法（昭和24年法律第267号）第86条
- 2 不利益処分の原因となる事実  
当該漁業権者である美津島町漁業協同組合からの請願による。
- 3 意見の聴取の日時及び場所  
日時：令和7年12月16日（火）  
14時35分から14時45分まで  
場所：対馬振興局 本館1階 第1会議室  
（対馬市厳原町宮谷224番地）

〇問い合わせ先  
対馬海区漁業調整委員会事務局  
電話番号 0920-52-1947

## 対区第 1309 号 免許内容

・ 免許番号	対区第 1309 号	変更なし
・ 漁業権者	美津島町漁業協同組合	変更なし
・ 漁業種類及び漁業の名称	第 1 種くろまぐろ小割式養殖業	変更なし
・ 漁業時期	1 月 1 日から 12 月 31 日まで	変更なし
・ 漁場の位置	長崎県長崎県対馬市美津島町尾崎 土寄崎地先	変更なし
・ 漁場の区域	省略	変更なし
・ 条件	以下のとおり変更	

### 【条件 新旧対照表】

新	旧
1. 略	1. 漁業権者は、外国漁船により漁獲されたくろまぐろを養殖用種苗としないことを誓約する書面を当該漁業を営む者に提出させ、これに反した場合は、その者の行使を停止させなければならない。
2. 略	2. 当該漁業権に係る漁場の区域において設置する養殖の用に供する生簀は、25 メートル×25 メートルの方形生簀 2 台、25 メートル×35 メートルの方形生簀 2 台、35 メートル×40 メートルの方形生簀 4 台の規模を超えてはならない。ただし、経営上必要な場合は、生簀の総面積が 8,600 平方メートルを超えない範囲内で、生簀の形状、規格又は台数を変更することは差し支えない。
3. 当該漁業権に係る区画漁業で用いられる養殖用種苗のうち、1 年当たりの天然種苗の活込尾数は、 <u>16,800 尾</u> を超えてはならない。	3. 当該漁業権に係る区画漁業で用いられる養殖用種苗のうち、1 年当たりの天然種苗の活込尾数は、 <u>9,800 尾</u> を超えてはならない。
4. 略	4. 人工種苗を活込んでではない。ただし、天然種苗が確保できず、かつ、経営に支障が出る等のやむを得ない理由があり、生簀によって天然種苗と明確に区別できると判断され、知事が認めた場合はこの限りではない。

## 対区第 1310 号 免許内容

・ 免許番号	対区第 1310 号	変更なし
・ 漁業権者	美津島町漁業協同組合	変更なし
・ 漁業種類及び漁業の名称	第 1 種くろまぐろ小割式養殖業	変更なし
・ 漁業時期	1 月 1 日から 12 月 31 日まで	変更なし
・ 漁場の位置	長崎県対馬市美津島町尾崎漁港防波堤地先	変更なし
・ 漁場の区域	省略	変更なし
・ 条件	以下のとおり変更	

### 【条件 新旧対照表】

新	旧
1. 略	1. 漁業権者は、外国漁船により漁獲されたくろまぐろを養殖用種苗としないことを誓約する書面を当該漁業を営む者に提出させ、これに反した場合は、その者の行使を停止させなければならない。
2. 略	2. 当該漁業権に係る漁場の区域において設置する養殖の用に供する生簀は、直径 40 メートルの円形生簀 3 台、直径 30 メートルの円形生簀 4 台、直径 25 メートルの円形生簀 1 台、直径 20 メートルの円形生簀 148 台、直径 15 メートルの円形生簀 7 台、15 メートル×15 メートルの方形生簀 3 台の規模を超えてはならない。ただし、経営上必要な場合は、生簀の総面積が 55,473 平方メートルを越えない範囲内で、生簀の形状、規格又は台数を変更することは差し支えない。
3. 当該漁業権に係る区画漁業で用いられる養殖用種苗のうち、1 年当たりの天然種苗の活込尾数は、 <u>20,570 尾</u> を超えてはならない。	3. 当該漁業権に係る区画漁業で用いられる養殖用種苗のうち、1 年当たりの天然種苗の活込尾数は、 <u>27,570 尾</u> を超えてはならない。
4. 略	4. 人工種苗を活込んでではない。ただし、天然種苗が確保できず、かつ、経営に支障が出る等のやむを得ない理由があり、生簀によって天然種苗と明確に区別できると判断され、知事が認めた場合はこの限りではない
5. 略	5. ハ、ニ、ホの点に夜間標識灯を設置しなければならない。